

ぼくは ぼくでよかった
だって
ねみちゃんに
であえたんだもの



誕生

50周年

ねずみくんのチョコッキ展

なかえよしを・上野紀子
想像力のおくりもの

休館日:4/21(月)、28(月)、5/7(水)、12(月)、19(月)、26(月)、6/3(火)、9(月)、16(月)、23(月) 開館時間:9:00~17:30(入館は17:00まで) 観覧料:大人(高校生以上)1,100円(850円)、65歳以上800円(500円)、小中学生600円(450円) ※()は20名以上の団体料金。特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。主催:愛媛県歴史文化博物館 特別協力:ポブラ社、ねずみくんのチョコッキ展実行委員会 後援:愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいや アートディレクション:福島よし恵

2025年4.19土~6.29日 愛媛県歴史文化博物館

はじめに

1974年、赤いチョッキを着たちいさな主人公、ねずみくんが登場する絵本『ねずみくんのチョッキ』が刊行されました。作家・なかえよしを、画家・上野紀子夫妻の共同作業によって生まれた絵本は、鉛筆で描かれたモノクロの絵と最小限の文章、余白を生かした美しい構図で注目を集めます。

本展では、最新作を含むシリーズ全作品が集結し、原画やスケッチなど約200点を展示。夫妻が追求しつづけてきた「想像すること」への長年の取り組みをご紹介します。なかえよしを・上野紀子が二人三脚で作りだした豊かで温かな世界を、ぜひお楽しみください！

見どころ

- ①扉の国の子コ ②ねずみくんのチョッキ
- ③りんごがたべたいねずみくん
- ④ねずみくんとホットケーキ



①



②



③



④

ねずみくんの絵本シリーズの原画やスケッチが集結！

選りすぐりの名場面を、貴重な原画やスケッチで展示します。また、なかえよしをが構想し、上野紀子が描き出したシュルレアリスムの

油絵「少女子コ」シリーズや、ふたりの絵本作りの原点『ペラペラの世界』の原画も展示。

ふたりのアトリエ

上野紀子の作業机を再現したブースや、愛用の品々・蔵書などを通して、想像力の源を紹介します。

ねずみくん＆ねみちゃんと写真を撮ろう！

会場入り口には、立体オブジェを展示。表紙のコラージュ体験、ねずみくんへお手紙を書くなど、参加型の展示もたっぷり。

図録

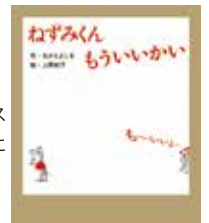


誕生50周年
ねずみくんのチョッキ展
展覧会図録
価格：3,960円（税込）
仕様：195mm×165mm
ケース付き
2冊入り

スタンプ 絵本

オリジナルの一冊がつかれる絵本
『ねずみくん もういいかい』

会場内をめぐり、かくれんぼをしている動物をみつけてスタンプを集めると絵本が完成します。この展覧会のために書き下ろした限定品です。価格：600円（税込）



著者紹介



ふたりは大学時代に出会い、1966年に結婚。同年、中江が文章を手がけ、上野が絵を描いた『ペラペラの世界』を自費出版。1973年、アメリカのハーバー・アンド・ローから『ELEPHANT BUTTONS』を出版。1974年、『ねずみくんのチョッキ』をポプラ社から刊行し、1975年、同作品で第6回講談社出版文化賞絵本賞を受賞。

現在まで50年以上、『ねずみくんの絵本』シリーズの刊行が続いている。『いたづらララちゃん』で第10回絵本にっぽん賞受賞。2005年、それまでの業績により巖谷小波文芸賞を受賞。2020年、なかえよしをが日本児童文芸家協会選定の児童文化功労賞を受賞。ふたりが共作した作品は、200冊以上にのぼる。

ワークショップ

詳細は当館HPへ ↓



シルクスクリーンで
オリジナルハンカチを作ろう



交通アクセス

- ・車 松山自動車道松山ICから西予宇和IC経由で約50分
- ・JR 松山駅から卯之町駅まで特急で約1時間
- ・バス 卯之町駅から歴史文化博物館行き約7分

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM OF EHIME HISTORY AND CULTURE
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 0894-62-6222
管理運営・指定管理者 いよつづ総合企画

グッズ

ロールシール 990円（税込） →



↑ふふわぬいぐるみ サイズS
ねずみくん/ねみちゃん 各3,190円（税込）



↑ねずみくんのジョッキ
1,980円（税込）

←大きめショッピングバッグ
2,090円（税込）